

(1) ※南津軽郡選挙区の区域は、藤崎町、田舎館村です。

明るく豊かなふるさとづくり ～ 元気!あおもり一直線 ～

阿部広悦は『子供たちの未来のため』
一生懸命に努力しております。皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

- **がん対策**
(がんの最大原因)
○ がん検診率の向上
○ ガン登録事業の推進
○ 先端医療の導入と緩和ケア施設の充足
- **雇用の充実**
(生活の安定と豊かさ)
○ 中小企業振興の充実・強化
○ 公共投資の計画的実施
- **教育の充実**
(地域づくりは人づくりから)
○ 高いレベルの学力と規範意識の向上
○ 私立学校の教育条件の向上
○ 保護者の経済的負担の軽減
○ スポーツに親しみ、競技力の向上
- **福祉の充実**
(弱者救済は政治の原点)
○ 地域医療体制の整備
○ 身体障害者とその家族への支援

私はやります!
農林水産業の振興
(農林水産業に
を与えることのできない国は亡ぶ)
○ 青森県の元気の源である農林水産業を不
退転の決意で守り育てる
○ 持続的営農を可能とする生産体制の確立
○ TPPの参加は反対、国際競争に
十分耐える農業づくりが先

がんばれ・負けるな東北!
東北地方太平洋沖地震で被害された
皆様に心からお見舞い申し上げます。
不幸にしてお亡くなりになりましたが、
そのご遺族に対し深くお悔やみ申し上げ
ます。
政治に携わる立場にある者として又一人
の人間として、これからの復興・復興に
向け全力を尽くしてまいります。



自由民主党公認
阿部広悦
あべひろ悦

プロフィール

昭和23年1月 藤崎町に生まれる
昭和41年3月 県立五所川原工業高校卒業
(第一回生)
平成7年8月 藤崎町議会議員
平成10年7月 青森県議会議員(現職期目)

- 青森県選管委員長
- (社)県トラック協会協力推進課副会長
- 青森県議会議員(現職)
- 県立五所川原工業高校同窓会会長
- 県議会議員(現職)
- 藤崎町選管委員長(現職)
- 青森県選管議員(現職)
- 自由民主党青森県選管委員長

《 地域を元気に! 》

経歴

昭和37年7月15日生まれ(48歳)
県立弘前実業高等学校卒業
元藤崎町連合PTA会長
元藤崎町社会教育委員 委員長
元藤崎町議会議員(平成15年初当選)

政治理念

この地域に生まれ、育ち、
良かったと思える
社会づくりに
全力を尽くします。

- | 福祉 | 農業 | 教育 | 雇用 |
|-----------------------------|---------------------|------------------------|--------------------------|
| 小学校6年生までの医療費無料化
高齢者福祉の拡充 | 農産物の輸出拡大
地産地消の強化 | 学童保育の充実
小、中学生の学力の向上 | 未就職者の雇用拡大
小、中学生の学力の向上 |



つるがや たかし

つるがや たかしが目指すこと!!

プロフィール

昭和32年8月3日生まれ(53歳)
法政大学法学部法律学科中退
2007年田舎館村議会議員選挙
初当選

- 現職
川部西ヶ丘保育園理事長
田舎館村体育協会会長
- 元職
田舎館村議会議員
農林水産省職員
盛岡鉄道管理局
青森県立弘前中央高校PTA会長
田舎館村立西小学校PTA会長
南部連合子供会会長
南部連合PTA会長

鈴木和久後援会
〒039-1141 南津軽郡田舎館村川部中西田300-58
TEL: 0172-75-9999・6699 FAX: 0172-88-7538
http://www.geocities.jp/ge_kazuhsa/

災害復興への提言

東日本大震災被災地の
一日も早い復興を
お祈りいたします。

- 避難住民のホームステイ事業等、民間支援団体とも協力し、被災者支援を強化
- 避難所生活からの一日も早い脱却のため県内への受け入れ体制を確立
- 原子力を含む本県エネルギー政策の抜本的見直しを進める
- ベレトストーブの普及拡大、家庭用自家発電の普及拡大を積極的に提言

鈴木和久の3楽あおもりふるさと政策

- 教育費の支援強化で子育ての不安を解消し、楽しく子育てのできる環境をつくれます。
- 小中一貫校、30人学級の導入を順次進め、よくなる、楽しい授業で教育水準のレベルアップをはかります。
- 少子化や人口減少にストップをかけるべく、Uターン起業支援制度で働く場を増やし、就業安定化をはかります。
- 本県農業に打撃を与えかねないTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)参加に反対し、農業の未来を守ります。
- 稲わらや藁定枝の活用から農業の六次産業化につなげ、収入安定化と後継者確保で農業の将来不安を解消します。
- 新鮮野菜効果を生かし、農業者と消費者の交流を基盤とした農業観光開発に取り組みます。
- 生涯を健康に楽しむため、健康診断やがん検診の充実をはかり、きめ細かい保健医療サービスを実現します。
- 訪問看護サービスと医療機関の連携を深め、在宅医療・在宅介護の一層の充実をはかります。
- 県政の事業仕分けを行い、行財政の無駄を聖域なく省くことで、60歳からの就業支援事業に取り組みます。



無所属
鈴木和久
かすひさ
夢を育てよう!

青森県議会議員一般選挙

投票日 4月10日(日)

- **投票時間** 午前7時～午後8時
ただし、一部の投票所については、投票時間を変更していただきますのでご注意ください。
- **投票の方法**
投票用紙(白色)には、「候補者の氏名」を記載してください。
※ 候補者の氏名以外の他事を記載した場合、その投票が無効となることがありますのでご注意ください。

- **期日前投票**
4月2日(土)～4月9日(土)、午前8時30分～午後8時
投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由がある方は、あらかじめ、各市町村の選挙管理委員会でも期日前投票をすることができます。
詳しい手続きについては、市町村または県の選挙管理委員会にお尋ねください。

青森県議会議員一般選挙



投票日 4月10日(日)



投票時間 午前7時～午後8時

ただし、一部の投票所については、投票時間を変更していますのでご注意ください。

投票の方法

投票用紙(白色)には、「候補者の氏名」を記載してください。

※ 候補者の氏名以外の他事を記載した場合、その投票が無効となる場合がありますのでご注意ください。

期日前投票 4月2日(土)～4月9日(土)、午前8時30分～午後8時

投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由がある方は、あらかじめ、各市町村の選挙管理委員会で期日前投票をすることができます。

詳しい手続きについては、市町村または県の選挙管理委員会にお尋ねください。



(1) ※上北郡選挙区の区域は、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町です。

【経歴】

昭和27年11月9日生 雄ノ沢出身(14軒)
父 重次郎 母 幸子 次男 58歳
青森県立小川高等学校卒業
昭和49年 東北町地域振興会 代表理事(現) 代表理事
昭和49-50年 上北郡青年会議会 代表理事
昭和50年 東北町建設技術協会 代表理事(現) 代表理事
昭和52-53年 東北町青年協議会 代表理事(現) 代表理事
昭和56年 上北郡青年協議会 代表理事(現) 代表理事
昭和58年 東北町建設技術協会 代表理事(現) 代表理事
昭和62年 東北町建設技術協会 代表理事(現) 代表理事
平成1年 日本土木建設協会 代表理事(現) 代表理事
平成3年より、東北町建設技術協会 代表理事(現) 代表理事
平成7年 上北郡青年協議会 代表理事(現) 代表理事
平成10年 東北町建設技術協会 代表理事(現) 代表理事
平成13年 仙台青森共立大学 代表理事(現) 代表理事
平成15年 上北郡建設技術協会 代表理事(現) 代表理事
平成22年3月 東北町建設技術協会 代表理事(現) 代表理事
平成22年4月 東北町建設技術協会 代表理事(現) 代表理事

共に生きる地域づくりを

- 1 地域産品を活用した6次産業化と地産外消による農業者所得の確保、後継者支援**
 - 〇 生産者・農協・産地・行政・商売・バイヤー(市場)と連携して、上北地域の地産品に付加価値を付けて協働販売(販売戦略の構築)
 - 〇 農業食品、漁業食品、酪農・畜産食品等を利用した加工品の開発、商品を県外に販売(県内では学校給食「牛乳等」に積極的に活用するようとする)
- 2 高齢者を敬い、いたわる地域社会の構築**
 - 〇 戦後の荒廃と廃墟の中から立ち上がり、現在の社会を築いた高齢者の尊厳が、安心して生活できる環境を築き「県外赴く家族とも連携」、地域、行政が一体となり、一人暮らしの方、若い労働者をサポートする
 - 〇 高齢者入居施設等で働く人の労働条件の待遇改善により、より良い職場と居心地のいい施設づくりへの支援
- 3 環境にやさしい地域づくりと里山保全への取り組み**
 - 〇 小川原湖、むつ湾の漁業資源を守るため広葉樹の森を育成
- 4 スポーツ活動、文化活動、学校教育への支援**
- 5 安心して出産、子育てできる環境整備**
- 6 雇用の確保と新しい産業の創出と誘致への支援と取り組み**



ヤママダ
山田昭二

県政にむかってあきら

工藤 あきら

プロフィール

昭和27年5月5日生 (58歳)
昭和46年3月 JA七戸町支部長
昭和63年9月 JA八甲田理事
平成13年9月 JA八甲田理事
平成16年2月 七戸町議会議員
平成16年4月 農業者

水 稲 2ha 花 牛 30ha 鹿 鹿にんこ 50k
こぼろ 50k

工藤あきら選挙事務所
〒039-2511 上北郡七戸町字栗田川久保17
TEL 0176-58-6017-6018

私は専業主婦です。農家の暮らしは年々厳しくなっています。加えて、「農業従事者の高齢化」と「後継者問題」は深刻であり、未来に希望が持てないのが現状です。

農家が良くなければ食が良くなりません。農家の暮らしと食の安全を守るため、生まれ育った地域のために私をお役に立てさせていただきます。ご期待に沿えるよう全力を尽くします。

農業は自然の恵みです。そして先人が築いてきた文化と産業を誇りに、地域住民の幸せを願い、県政発展のために、汗を流し参ります。

工藤あきらへの決意

〇 TPPへの参加は断固反対します
今、TPPに参加すれば、青森県の農業は壊滅的な打撃を受けるのを始めとして、農林水産業だけでなく、関連産業を含めた中小企業の経営や地域経済にまで大きな影響を与えることになり、雇用の安定を損ねることになりかねません。

〇 政治家の関連企業への利益誘導は許さない
政治家が身内の利益を優先していたとすれば、県民目線とか、県民の為とは名ばかりで、利権政治そのものではないでしょうか。このようなことは早急に改め、県民の血税を納税者の立場で適性かつ公正に有効活用できるようにチェックします。

〇 県民が安心して安全に暮らしていただけるようします
次の実現をメインテーマに取り組み参ります。
一、働く場の確保・拡大
一、地域経済の活性化
一、観光産業の推進・活性化
一、住民福祉の充実

〇 議会報告を通じて皆さんと情報を共有します
議会活動の状況や地域住民に報告・説明するとともに、県政に対する提言や議会活動に対する批判、意見を聴き、地域住民の声」を直接県政に反映させて参ります。



無所属・新人
工藤 あきら
五十八歳

地域の声を、県政に届け、郷土の明日を拓く。

- 〇 **農林水産業の振興**
● 農産物の生産・加工・流通の活性化
● 農産物の生産・加工・流通の活性化
● 農産物の生産・加工・流通の活性化
- 〇 **観光産業の振興**
● 観光産業の振興
● 観光産業の振興
● 観光産業の振興
- 〇 **子育て支援と教育の充実**
● 子育て支援と教育の充実
● 子育て支援と教育の充実
● 子育て支援と教育の充実
- 〇 **高齢者の福祉の向上**
● 高齢者の福祉の向上
● 高齢者の福祉の向上
● 高齢者の福祉の向上
- 〇 **環境保護の推進**
● 環境保護の推進
● 環境保護の推進
● 環境保護の推進
- 〇 **地域振興の推進**
● 地域振興の推進
● 地域振興の推進
● 地域振興の推進



自由民主党公認
工藤のりやす

【経歴】

昭和23年2月24日生まれ(63歳)

【学歴】
青森県立三沢高等学校卒業
明治大学経済学部経済学科卒業

【経歴】
三沢市経済部商工観光課
商業街区開発対策室長
三沢市商工事務局長
三沢市経済部参事兼商工観光課長
元上北町助役
元(新)東北町収入役
元小川小学校PTA会長
(財)大三沢柔道協会幹事
東北町柔道協会監事

【趣味】
自然に親しむ
釣り、山菜採り
柔道(7段)

情熱・行動・実行

地域の声を県政に

〇 **環境保護**
基礎産業である農林漁業は適正な環境が保たれてこそ成り立ちます。特に「水」は生命のみならず、私達の生活にとっても、絶対不可欠な資源です。小川原湖をはじめ、河川や湖沼の水質汚染が深刻な問題になっている地域への緊急対応が必要とします。水質環境監視・管理体制の整備などに取り組めます。

〇 **観光振興**
この地域は、自然・農林漁業・酪農資源に恵まれており、それぞれ独自の生活や食文化をもつ観光資源の宝庫です。新幹線七戸十和田駅、三沢空港、青い森鉄道、上北道路の整備などの交通の要衝という利点・特性を活かし、八戸から下北を結ぶ観光ラインの形成に取り組めます。

〇 **商業振興**
大型店の出店ラッシュにより、この十数年の間に商業環境は劇的に変化しています。これまで地元住民に生活の潤いや祭りなど、地域文化の向上に大きな貢献をしてきた地元商店街の活性化に取り組めます。

〇 **農林漁業振興**
基礎産業である農林漁業については環境保全型の生産態勢の充実を図りながら、観光振興と連携した地産地消の実現に取り組めます。



無所属
沼尾 啓一

この選挙公報は、くじを引いて掲載順字を決定し、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版して印刷したものです。

※上北郡選挙区の区域は、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町です。

(2)

エビサワ正勝



私の目指す重要政策
地域経済をリードする活力ある発展を目指します。

■豊かな自然を活かし地域産業経済の発展。地域ブランドで地域を元気に。

■農林水産業の基盤整備を図ります。

■安心・快適な暮らしの構築を目指します。

■青少年の健全な育成をサポートします。

地域に夢と希望と幸せのために。

■交通ネットワークの整備。
■山川・海の流域が一体となった環境対策。
■安心な地づくりに向け、医療福祉の充実。
■商工・観光の振興、企業誘致・雇用の促進。
■青少年の体力向上とスポーツに親しめる環境の充実。
■学校教育の充実。
■芸術・文化、生涯学習の充実。



エビサワ正勝プロフィール

●経歴
昭和22年10月4日・上北郡東北町に生まれる
昭和41年・青森県立三木大農業高校農産土木科卒業
前 東北町森林組合代表理事組合長(現 理事)
前 青森県森林組合連合会会長
前 東北町体育協会会長(現 顧問)
東北ソフテニス協会顧問
三沢コミュニティ会中幹
元 東北ロータリークラブ会長
元 乙供中学校PTA会長
元 東北中学校統合準備委員会委員長
七戸地区安楽事業主会副会長
(株)おがわら 取締役
東北建設企業グループ会長
青森県農工連合会副会長
東北町商工会会長

●趣味・読書
●スポーツ/ソフトテニス、ゴルフ

蛸沢正勝 選挙事務所
〒039-8654 上北郡東北町字蛸沢ノ515-1
TEL:0175-65-5530

吉田絹恵

無所属 よしだきぬえ
(64歳)



教育制度の確立と子育て支援
次代を担う子どもたちが、健やかに育つ制度の確立に取り組めます。子どもたちが安心して遊び学べる環境づくりの整備・拡充を進めます。

●女性の出産・仕事と子育ての両立をサポートする家庭政策を進めます。郷土に誇りを持つ心の教育のために家庭・学校・地域をつなげる活動を推進します。

●**産業振興とまちづくり**
基幹産業である農林水産業を、地元の特性を生かしたより強い産業にする取り組みを広げます。

●若者や中高年者の雇用の場を創出し、地域経済の発展や地域づくりに取り組みリーダーを育て、元気なまちづくりを推進します。

●**安心な福祉社会の構築**
福祉・医療・介護・保健を包括的に、お年寄りが安心して生活できる社会保障制度の確立を目指します。

●高齢者でも歩ける道路、トイレ、スロープなど、やさしい町づくりを推進します。

●地域見守り活動等、コミュニティの活性化を図り、誰もが安心・安全に暮らせる取り組みを進めます。

子どもに愛を。青年に夢を。お年よりに安心を。

～全力で取り組みます、人を大事にする政治～

吉田絹恵プロフィール

●経歴
昭和41年10月8日生まれ
県立八戸商業高校、八戸短大卒業
平成15年4月自治体議員初当選

●現職
おいらせ町議会議員
社会福祉法人奥入瀬会理事長
百石幼稚園園長
おゆみ保育園園長
おいらせ地区民生保護女性会会長
おいらせ町連合会婦人部副会長

●選挙事務所
上北郡おいらせ町上野前97-1
電話：0178(20)9805～9806

「ハロー上北」歩みつ！ しゃべりつ！
県南初の女性議員を！

木明和

民主党公認
かすみょう かつひと
45歳



■農林漁業者の所得向上 ■教育環境の整備 ■エネルギー供給基地としての魅力発信

地域ので夢を形に。

「お願いの政治」から、「約束の政治」へ。

この度の大震災で被災された皆様、ご家族に心よりお見舞い申し上げます。共に助け合い、支え合い、一日も早い復旧に向かって頑張ってください。



木明和のプロフィール

【経歴】
生年月日 昭和40年5月1日(43歳)
昭和59年3月 青森県立野辺地高等学校卒業
平成元年3月 日本大学農獣医学部 農畜経済学科卒業

平成元年4月 株式会社 木明工業に入社
平成10年4月 野辺地町農工会青年部部長
平成12年4月 野辺地町農工会青年部部長
平成12年6月 野辺地町農工会理事
平成13年5月 青森県農工会青年部連合会副会長
平成13年5月 野辺地町農工会副会長
平成19年4月 野辺地町農工会副会長

青森県議会議員一般選挙

投票日 4月10日(日)

投票時間 午前7時～午後8時
ただし、一部の投票所については、投票時間を変更していただきますのでご注意ください。

投票の方法
投票用紙(白色)には、「候補者の氏名」を記載してください。
※ 候補者の氏名以外の他事を記載した場合、その投票が無効となることがありますのでご注意ください。

期日前投票
4月2日(土)～4月9日(土)、午前8時30分～午後8時
投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由がある方は、あらかじめ、各市町村の選挙管理委員会で期日前投票をすることができます。
詳しい手続きについては、市町村または県の選挙管理委員会にお尋ねください。

この選挙公報は、くじを引いて得票数を決定し、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版して印刷したものです。

選挙公報

平成23年4月10日執行
 青森県議会議員一般選挙
 三戸郡選挙区

(1) ※三戸郡選挙区の区域は、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村です。

実現力！ 夏堀こういち



夏堀こういちが皆さんとともに
進めたい政策課題

- ◆ **地域資源の高付加価値化**
 ①農産物が連携した地域資源活用推進体制の形成
 ②農林水産物を活用した高付加価値製品の開発・販売と競争力を高める「プロダクト化」の推進
 ③地域資源活用と産地地消及び人材の活用・育成
 ④安全・安心な農林水産物の供給と担い手の確保
- ◆ **ものづくり産業の活性化**
 ①地域企業の受発注拡大や業種・第二創業の促進
 ②新商品・新技術・新分野の開発・製造・販売の促進
 ③ものづくり関係者などによるネットワークの形成と一体的取組の推進
- ◆ **環境エネルギー関連産業の振興と循環型社会の構築**
 ①環境・リサイクル分野での先進的取組を活用した新たな産業創出の促進
 ②太陽光、バイオマスなど、地域の特性を生かした再生可能エネルギー導入の推進
- ◆ **広域観光の推進**
 ①グリーン・ツーリズムやブルー・ツーリズム
 産業観光など地域の暮らしと風土に密着した観光振興
 ②三八地域の食を生かした観光推進
 ③広域観光の推進を支える人材の活用・育成
- ◆ **安心・安全なまちづくり**
 ①高齢者・身障者にやさしい福祉の地域づくりと医師の確保
 ②子育てサポートの支援拡充で少子化対策
 ③家庭・学校と各種行政機関の連携と情報網の拡充で安心な地域づくり
 ④若者、高齢者の由中居住推進と商店街の活性化
 ※トクターヘリの構目導入

夏堀 浩一 プロフィール

- 昭和29年1月15日生まれ
- 昭和52年麻布医科大学卒業
- 平成19年青森県議会議員
- 農林水産常任委員
- 青森県議会防衛議員連盟
- 青森県議会畜産振興議員連盟
- 不二動物病院 顧問獣医師
- 八戸わか（株）会長 相談役
- 三八支部獣医師会 副会長

- 趣味/バウリング、ｽｰﾌﾞ観戦
- 特技/バウリン、ｶﾗｲ

夏堀 浩一 選挙事務所

〒039-0611
 三戸郡南部町斗賀字上町焼 43-5
 TEL.0178-75-1218

郷土を愛する心・地域を愛する心

活力と希望の政治



民主党公認 北紀 一

一括交付金で
地方に自主の自治を!!

○農商工の振興

人の命を支えるもの。それは食糧です。それを生産する農・漁業こそが第一の産業です。

○福祉と教育の拡充

高齢者、子育て、障害者を心配する方の考えに沿った政策を実行

子供は親の宝であり国の宝です。豊かな知識と道徳心を生かす子供を育て、不屈の精神を持った未来を託せる子供の育成。

○公共事業対策

健全な社会資本の整備
 三戸郡の県道改良舗装率は、県平均を30%も下回っています。

これを是正しなければいけません!!
 (他産業との連携推進)
 地方経済の一翼を担う建設業の健全な発展のためには是非必要です。

地震・津波の被災者の方々へ心からお見舞い申し上げます。
 復興に全力を尽くします!!



民主党公認 松尾 和彦

この度の東北地方太平洋沖地震で被災された皆様、心からお見舞い申し上げます。また、皆様のご健康と一日も早い復興を心から願っております。

青森県を初め東北地方そして日本は三月十一日を境にして過去の危機に直面しているといつても過言ではありません。

この度の大震災によって、我々政治にたずさわる者の責任は、まず一日も早い復興を成し遂げる事です。そして、2次的影響を受けた県内産業、地方経済、医療体制の確保など県民生活の安定を図る事です。そのうえで、子供達の将来にわたって安全安心な青森県を創るために県民皆様の約束を実現することが必要です。

私も、県民の皆様とワークショップを重ねて策定した、マニフェスト「おももり2011」(3つの約束)は多くの県民の感じる現状認識であり、県民の痛切な願いです。

課題解決にむけた取組みや過程など、情報公開をすすめる生活者視点の政治が求められています。青森県の力強い復興を実現し、県民の生活を守ります。山積する課題を一つ一つとつ解消する事に全力を尽くします。



子どもを守る
 みらいを守る
 いのちを守る

プロフィール
 昭和38年8月生まれ(即年)47歳
 昭和57年県立三戸高等学校卒業
 昭和61年青森大学経営学部卒業
 平成10年参議院副議長秘書官退任
 元青森県商工会青年部連合会副会長

現在
 青森県議会(2期目)
 議事運営委員会委員
 議会内全ての委員会を総務
 課子力・エネルギー対策特別委員会
 東北地方太平洋沖地震
 災害対策特別委員会
 <民主党 青森県連>
 地域戦略局長
 <その他活動>
 三戸町観光協会 会長
 三戸町商工会理事
 青森県農工会、青森県青年部連合会顧問
 県立三戸高等学校同窓会幹事

まつおかずひこ
 松尾和彦 選挙事務所
 三戸郡三戸町大字八日町1-2
 電話0179-22-3247

自由民主党公認 沢田さとし



皆さんの声を青森県政へ
 安心、安全な暮らしのために
地場産業振興

農水産物の生産・流通経路を明らかにすることで「青森ブランド」という新たな付加価値を生み出すとともに、食品産業でも競争力を持った商品開発を進めます。美しい農漁村を創り、都市と農村の交流を図ります。

環太平洋連携協定(PPF)への対応を検討し、農業はもとより、あらゆる職種の対策を推進します。中小企業は地域活性化の要です。中小企業の多くは、運転資金を確保すれば再生できます。優れた技術とアイデアに対し、自治体と地方金融機関が協力が融資する新制度づくりに取り組めます。

教育
 スポーツ、文化の振興を通じ、個性あふれる子供たちの才能を伸ばします。
 教育の質を高めるために「教育実践功労表彰」制度などを導入できるように努めます。

年金・医療・介護
 若い人たちの負担が重くなり過ぎず、高齢者も安心して暮らすよう、将来の給付と負担を明確にします。
 お年寄りや待たずに施設に入れるような介護保険制度を充実させるなど、将来も安心して暮らせる社会保障制度の確立に取り組めます。

●全県的な医師不足の解消と医療の地域間格差の是正に取り組めます。

経歴
 ●昭和33年2月6日
 三戸町に元青森県議会副議長 沢田徳の長男として三戸町に生まれる

●青森県立三本木農業高等学校卒業
 ●北海道医科大学卒業

現職
 ●三戸町議会議員、三戸町議会議員(4期)
 ●青森県商工連合会代表理事
 ●三戸高産産協同組合代表理事組合長
 ●南部町地域農業共済組合理事
 ●三戸町農業委員
 ●社会福祉法人 恵心会理事
 ●三戸地区交通安全協会三戸支部支部長

沢田さとしはこんな人
 ○趣味/釣り、釣りにだけじゃなく食べません。映画鑑賞、ハーフマラソンが大好きです。
 ○特技/スポーツ、球技全般が好きです。
 ○家族/妻、長女、長男の4人家族で、愛犬、愛猫、愛牛、愛馬がいます。

沢田さとし 選挙事務所
 〒039-0144 三戸郡三戸町大字六日町1-1
 TEL.0179-20-0262

この選挙公報は、くじを引いて掲載順字を決定し、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版して印刷したものです。

青森県議会議員一般選挙



投票日 4月10日(日)



投票時間 午前7時～午後8時

ただし、一部の投票所については、投票時間を変更していますのでご注意ください。

投票の方法

投票用紙(白色)には、「候補者の氏名」を記載してください。

※ 候補者の氏名以外の他事を記載した場合、その投票が無効となる場合がありますのでご注意ください。

期日前投票 4月2日(土)～4月9日(土)、午前8時30分～午後8時

投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由がある方は、あらかじめ、各市町村の選挙管理委員会で期日前投票をすることができます。

詳しい手続きについては、市町村または県の選挙管理委員会にお尋ねください。



(1) ※青森市選挙区の区域は、青森市です。

青森の“元気”を創る!!



＜プロフィール＞

- 出身地：西洋経路 深浦町
- 役職
 - ・青森県議会議員(1期目)
 - ・青森県議会議員(2期目)
 - ・青森県民社会党代表
 - ・東北電力取締役
 - ・東北電力ねがた愛好会会長
 - ・青森県観光コンベンション協会会長
 - ・CO2削減市民会議議長
 - ・ALS協会青森県支部副支部長

確かな産業・雇用づくり

- ① 農林水産業の優位性を生かした六次産業
- ② ネットギア・ポテンシャルを生かした
- ③ 低炭素社会を見据えた産業技術の育成
- ④ 新幹線全線開業による
- ⑤ 地域資源を活用した産業基盤の強化

ヤッパリ青森!

安全・安心づくり

- ① 地域医療の連携強化と
- ② 高齢者社会を見据えた
- ③ 子どもを生み育てやすい
- ④ 過疎化人口減少を踏まえた
- ⑤ 地域防災危機管理の充実

モット青森!

託せる人と持続的社会的環境づくり

- ① 地域社会が一体化となった教育力の育成
- ② ティンジン精神あふれる人材育成
- ③ 攻めの農林水産業を担う
- ④ 県民・事業者行政による
- ⑤ 持続可能で地域振興に資する

ネット青森!



いちのへ
一戸ふみお
無所属

このたびの東北関東大震災で被災された皆さまに対し心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興をお祈りいたします。がんばろう!日本!

こむら一雄のふるさと復権!!



プロフィール

- 昭和38年弘前高校卒業
- 昭和39年浪岡町職員
- 平成5年速合青森事務所長
- 平成11年浪岡町議会議員
- 平成17年浪岡町長に就任
- 平成19年青森県議会議員

- ① 地域のきずなを回復したい
- ② 暮らしが成り立つ農業を再生したい
- ③ 県民が主役の県議会にしたい

- ① ふるさとのきずなを回復し、経済的にも文化的にも自立できるように、暮らしの立て直しをします。
- ② 子どもからお年寄りまで、手助けが必要なすべての人が安心して暮らせるよう、地域を支える仕組みをつくりたいです。
- ③ 常に地域の声に耳を傾け、県民の暮らしに最も重要な施策については、県民投票を行なえる状況を目指します。

- ① 核燃・原子力施設やクリスタルバレイ構想に象徴されるような、県民不在の国策追従的・場当たり的な産業政策を止めさせます。
- ② 農林漁業を再生させ、安心・安全な食の生産を基盤とした産業化により、雇用の創出をはかりたいです。
- ③ 地産地消による県産品の個性化を強め、自然と食と交流をテーマとした観光資源化をはかりたいです。



無所属
こむら一雄
かずお
66歳

プロフィール

- 昭和56年4月30日生
【身長】188cm
【趣味】釣り・旅行
バスケットボール
- 経歴
- ・青森市立浪岡小学校卒業
 - ・青森市立戸山中学校卒業
 - ・青森高校(第50回生)卒業
 - ・志取大学法学部政治学科卒業
 - ・新藤建設 営業第二 担当
 - ・白民党青年局長
 - ・株式会社ぐるの勤務
 - ・消防団第4分団第4期入団

皆さまとのパイプラインになりたい

雇用対策最重点

- ① 若者の雇用を促進することで、人口定着・消費拡大・子育て支援へとつなげます
- ② 中高年・定年退職者が経験を活かせる(再)雇用の場を創出します
- ③ 地域の自然やマンパワーを活かした地場産業の振興に取り組みます



みんなで創る魅力ある青森

- ① 若者や女性の意見・アイデアを政治・行政に活かすためのしくみを作ります
- ② ふるさとのすばらしい価値を再認識し、新しい発想と知恵で活力ある青森を創ります

県政への挑戦!!



花田 かずゆき
自由民主党
公認

頑張ろう日本! 頑張ろう東北! 頑張ろう青森!

国難ともいえる事態に直面した今こそ、政治の力が発揮されるべきだと思います。日本の将来を信じ、復興のその日まで全力で頑張ります。

- 【プロフィール】
- 昭和45年青森市生まれ40歳
 - 出身校/浪岡小、浪打中、青森戸山高、帝京大卒
 - 職歴/平成7年～平成18年
青森市役所、青森商工会議所
 - 平成19年4月 青森県議会議員初当選
 - 自民党青森県連政調会副会長・青年局長
 - 青森市青森消防団第4分団部長
 - 青森市立浪打中学校PTA会長
 - 青森青年会議所特別会員
- 【事務所】〒030-0901 青森市港町2-10-31
TEL 017-743-2133 FAX 017-743-2124
www.takahashi-shuchi.com

◆時には党派を超えて
県民の願いを!
一党一派のための政治ではなく、地域の住民の思いや声を届ける真の政治家を目指します。

◆あらゆる分野で、
人づくりに!
今を生きる国民とこれから生まれる子孫たちのために、農業、漁業、地元企業、雇用、福祉、医療、教育などあらゆる分野で、誇りを持ってチャレンジする「人」を育みます。

◆青森の元気で、
日本を元気に!
国も地方も閉塞感に包まれた今こそ、政治の力で、まずは青森を、そして日本を元気にしていきます。



自由民主党 公認
高橋 修一

(2)

政治活動25年 不撓不屈の郷土愛

自由民主党公認 やまや 山谷清文 きよふみ



私の信条

言ったことは、
必ずやりとげる。
やれないことは、
絶対に言わない。

ふるさと青森県の
明日のために

【緊急政策提言】

- 全ての県民の雇用を創り出そう！
- 雪や災害に強い街を盛りあげよう！
- 短命県ワーストクラスを返上しよう！
- 県人口の流出を絶対く止めよう！
- 乳幼児 児童の医療費を無料にしよう！
- 新鮮野菜を最大限発掘させよう！
- 格差のない地域社会を築きあげよう！
- 青森県の農水産物を食べよう！
- 青森県を担う人づくりを推進しよう！
- 青い森鉄道新中央駅を早期に作ろう！

（略歴）
昭和三十一年（一九五七）年青森市町生まれ
青森市立権本小学校、南中学校、青森県立青森高等学校、
中央大学法学部政治科卒業
青森市議会議員二期、青森県議会議員一期

子供たちの未来のために 高齢化に特化した街づくりを!

渋谷てつかずプロフィール

【経歴】
●昭和59年3月 青森県立青森高等学校卒業
●昭和61年5月 米国州立ハワイ大学卒業
●平成19年4月 青森県議会議員初当選

【職歴】
●元、衆議院議員公設秘書
●青森市消防団（副団長）
●青森地区障害者就労支援連合会（アドバイザー）
●NPO法人おもりの絆（副代表）
●NPO法人ピアネット（青森市の生活自立支援）
●障害スノーボードスター（一人暮らし高齢者と障害者の絆を絆を絆）

渋谷てつかず選挙事務所
青森市新緑平252-100 TEL.FAX 017-783-1055

県人口の25.5%（平成22年度）が65歳以上、
青森県民の4人に1人が高齢者です。
10年後には、32%となり、
3人に一人となると推計されています。
加速度的に進む高齢化社会は、
現在の高齢者に限った問題ではなく、
20代、30代の若者を含め、
すべての世代の課題です。
雇用、所得向上、
将来への不安の払拭のため、
新たな成長産業が必要です。
特に、今回の東北関東大震災にて
未だ厳しい避難生活を
送っている姿を見るたび、
高齢化に特化した街づくりの必要性を
確信しました。
これをすべての基本にして
いかなくはなりません。

挑戦、一新!



しぶたに 民主党公認 渋谷てつかず

政治動かす強力チームに

豪雪対策で党独自の政府交渉
を実施。ホタテへい死対策で1
万1千人の緊急雇用を実現…高
橋ちづ子衆院議員、6人の青森
市議員とともに、政治を動かす
強力チームをつくりだします。

市民の苦難解決が信条

すわ益一 ●1945年生まれ。
甲田小、古川中、青森商業高校卒。●国
鉄(現JR)に入社し労働運動に。●29
歳で市議(2期)、県議4期、党県議団
長、ねがた愛好会理事長、千富町在住。
●選挙事務所 久須志1-2-1 TEL721-8047

大震災の救援に全力。原発・核燃は根本的見直しを

仕事と雇用をふやす

TPP反対の共同ひろげる
食料自給率も雇用も地域経済も破壊
するTPP反対へ各界と力をあわせま
す。新規就職者支援制度をつくりま
す。

仕事づくり元気な地域
住居リフォーム助成の拡充で、地
元業者による300億円の仕向出しを、
子ども医療費無償化を小学校卒業
まで、保育料軽減や低家賃住宅な
ど子育て世代を支えます。
特養ホーム増設、住宅、学校耐震
化など生活密着の公共事業で仕事
と雇用拡大をすすめます。

原発の総点検・核燃は中止を
安全対策をなおさらにして原発大増
設をすすめてきた原子力行政を転換さ
せませ。原発の総点検、核燃料サイクル
事業の中止、規制機関の抜本的強化な
ど住民の安全を守る対策をすすめます。

国保・介護の負担を軽減
国民税の1世帯一万円の引き下げ、
全国一高い介護保険料の軽減、障がい
者の負担の廃止など、くらしの負
担、将来不安を減らします。

税金のムダをただす 分譲見通しもない青森新中央ふ頭(150億円)、クリスタルバレイ構想
(13億円)は破綻し、さらに29億円投入…。県政のあり方をチェックします。



日本共産党 すわ益一

魅力ある 青森県力の発信強化

●県内産業の観光資源化
●温泉資源の魅力発信
●青森の歴史文化と祭り文化の保存・継承
●国指定伝統工芸品・津軽塗りの振興
●伝統芸術・津軽三味線の保護と普及
●フィルムコミッション支援による地域振興

（略歴）
昭和35年 上北郡津町生まれ
昭和43年 県立八戸北高校卒業
昭和44年 県立八戸北高校卒業
平成15年 青森県議会議員初当選
現在 青森県議会議員
委員／東北新幹線対策
委員／東北新幹線対策
委員／青森県議会議員
委員／青森県議会議員

3 魅力ある 青森県力の発信強化

1 安全・安心で すこやかな暮らしの推進
支えあつた社会のために——地域守りネットワークの整備
県内全域をカバーするドクター(人)による救急救命医療体制整備を促進
ガン予防対策の強化
障がい者支援の強化
介護支援ボランティアサポートシステムの導入
産産・子育て支援の充実
西部地区の計画的整備の推進
冬季バリアフリーなどユニバーサル社会の推進

2 輝く地域社会実現に むけた産業・雇用の創出
新卒未就職者(卒後3年以内)、高校生資格取得支援及び就業支援の強化拡充
低炭素型産業の立地促進
海洋資源開発事業の推進
命を守る公共事業の優先発注
一次産業フロンティアによる基礎強化と経営の安定



共明党公認 いづき信一 (50歳)

この選挙公報は、くじを引いて掲載順を決定し、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版して印刷したものです。

(3) ※青森市選挙区の区域は、青森市です。

◎社会的弱者に愛の手を

◎明日を拓く担い手に光を



せき
りょう
関良

安心・安全で活力のある
青森県を構築するため

- 特別養護老人ホームの増設で
待機者ゼロを図る
- 首都圏から福祉施設を誘致する
- 教育・文化
○思いやりの心を育み、文化の
発展を図る
- 伝統文化を生かした教育の推進
- 環境
○生活道路などの改善と雪対策の推進
- 基幹道路の整備促進
- 観光・経済
○新青森野辺の規制緩和と大規模な
ショッピングセンターの誘致
- 県内観光地の連携による観光客の
誘致
- 地場産業の育成、特に農、漁
林業の後継者づくり
- 福祉施設などの増設による雇用の
拡大
- プロファイル
○昭和三十三年四月五日新城市生まれ
○青森県立青森商業高校卒業
○青森市議会議員二期
○社会福祉法人 幸仁会 ゆきわり荘園長

被災者の救済・復興支援を!



社民党公認
ならおか
奈良岡かつや
60歳

いのち
雇用
くらし

- 一、東日本大震災及び福島原発事
故の被災者の救済・復興支援
- 一、地場中小企業の振興と雇用の
確保・拡大
- 一、子どもを安心して産み育てら
れるための子育て支援、保育
教育の充実
- 一、TPP（環太平洋連携協定）に
反対し、むつ湾の漁業はじめ
農・林・水産業の再生
- 一、自然エネルギー開発で脱原発
- 一、消費税増税反対
- 一、男女共同参画社会の実現
- 一、県民の足を守る公共交通の
確保
- 一、年金、医療、介護、福祉の充実
で、高齢者が安心して暮らす社会
- 一、平和政策の確立
住民参加の
地方自治

（略歴）
一九五一年一月二十一日青森県田子町に
生まれる
一九六九年三月 青森県立三戸高校卒業
一九六九年四月 国鉄盛岡鉄道管理局入社
国労盛岡地方本部執行委員長
青森県平和推進労働組合執行委員長
二〇〇七年四月 青森県議会議員当選



原発・核燃の見直し
防災につよい青森に

福祉の心もつ県政へ

国保税1世帯1万円引き下げを
県から市への国保助成はゼロ円。国保
税引き下げ実現、介護保険の負担軽減へ
全力をあげます。

TPP 反対へ力をあわせませす
TPP 反対の県民的運動を。農業後継
者に月15万円の支援制度を創設します。
地産地消を推進します。

安全・住みよい街を
耐震化対策とともに、介護や
子育てのネットワークで、災害
に強い福祉都市を。流融雪溝、
信号や通学路の安全はじめ生活
環境の充実をすすめます。

日本共産党を2議席に増やし

政治を動かす、確かな力を

大沢研 ひとすじ
一九四七年
生まれ、青森県日本大学法
学部卒業。高野小、浪打中PT
A会長など歴任。地病院長
時（勤め）一九八六年に青森
市議、党市議団長を務める。青
党地区政委員、ねん愛好
会事務局長、茶町在住。二
選挙事務所、栄町二五十二番
電話〇一七七一五五二一

「子ども医療費の小学6
年生までの無料化」を勝
内市長が表明。住宅リ
フォーム助成制度もス
ターター。再政成でもス
む市民の願いの実現の流れ
を強力な多数の県議団で
応援します。

子ども医療費助成
小学校卒業まで拡充
年3億円の予算でできます。
当面4歳以上の自己負担（通院
1500円、入院一日500円）をな
くします。



日本共産党
大沢
研

大震災の救援・復興に全力をつくします
大震災の救援活動、市民の相談窓口として全力をあげていま
す。「いのちをくらしをつくる」市議24年の活動をつらぬく私の信念
です。必ず期待していただきます。

地方から政治風土を変える!
改革、実行。みなさんとともに進めます。



保守系・無所属
ならおか
奈良岡
央

- 私の決意
人々の幸せに尽くし、将来に希望がある、
そんな青森県を築くことを目指したい。
これが私の決意です。そして私たちの夢が
実現するまで、私は決して私利私欲を
心にたてず、邁進してまいります。
- 1 政策
青森市で新幹線が開通し、観光にその経済
効果が期待されています。
このチャンスを活かし、これを全市的に結び
つけていきます。
 - 2 地元の産業
地元産業の活性化と技術支援
エコポイント制の創設を推進し、競争力
を高めます。
また、全国的競争に打ち勝つための商品開発や
品質管理など、その技術力向上に取り組み地元
産業・産業に対し支援環境を強化します。
 - 3 農林・水産業の振興
青森は水が豊か、足場が強い農林・水産業の
振興のため、二次、三次産業との連携強化を
図ります。
特に、はたけ農業は、加工業、流通業を一体的
にとらえたいと考えています。
 - 4 地産地消の推進
青森の農と産に育まれ続けられる土の産物
産物を活用し、推進していく、そうだと
いう1歩を踏み出します。
 - 5 福祉の充実
福祉の充実、障害者がくらしと仕事に希望が
持てる社会を築きます。
また、子育てのために子育て支援センターが
一体的となり、これを進めます。
 - 6 鉄道交通と連携したまちづくり
鉄道交通と連携し、青森の活性化を高め
ます。
また、子育て支援センターが一体的となり、
一体的となり、これを進めます。
 - 7 行政改革
行政改革の推進は、行政の効率化を
図ります。
また、子育て支援センターが一体的となり、
一体的となり、これを進めます。

【略歴】
○昭和三十一年四月五日誕生
○青森市立古川小学校
○同野路中学校 現在の南中学校

○青森県立青森商業高校
○青森県立青森商業高校卒業
○青森市議会議員二期
○青森市議会議員二期

※青森市選挙区の区域は、青森市です。

(4)

- プロフィール**
- 昭和39年 青森市生まれ（かに産）
 - 青森市立堤小学校卒業
 - 青森市立浦町中学校卒業
 - 青森県立青森東高等学校卒業
 - 法政大学通信課程中退
 - 元青森地域広域消防事務組合勤務
 - 株式会社森内産業専務取締役
 - 青森県議会議員三期
- 担任に就任になっております**
- 自由民主党青森県支部連合会総務会副会長
 - 青森県議会建設常任委員会委員長
 - 青森県朝野連盟会長
 - 青森市朝野球協会の会長
 - 青森市アイスホッケー協会会長
 - JR執行協力会副会長
 - 東日本鉄道OB会賛助会員
 - 青森市自転車競技協会会長
 - 青森県サイクリング協会会長
 - 青森ねむた（バケツ）保存会顧問
 - ポリウム会（自衛隊協会）名譽少将
- スポーツ**
- 野球、アイスホッケー、バレーボール、etc

全力の行動と誠意で きらめく青森を創る！



森内のぼる
自由民主党公認

子どもは青森県の宝。そして財産。心豊かに育てることが大切です。高齢者・障がい者福祉は大きな課題。教育・福祉を充実していかなければなりません。雇用対策は重要な課題。企業誘致・資格取得支援など、取り組みをさらに進めていかなければなりません。そして青森の主産業・農林水産業の維持・推進が青森県の発展に繋がります。消防職員時代に教えて頂いた人の命の大切さを心にし「きらめく青森」を創るため「幸せ」な「笑顔」をモットーに誠意を持って頑張ります。



「笑顔」「幸せ」「誇り」が森内の願い。
国民の安心と安全のために「森内の仕事」

- 青森県議会議員選挙対策
- 八甲田大橋 凍結防止対策
- 農林水産物の販路の拡大
- 西津大橋・凍結防止対策実施決定！

森内のぼるが頑張ります！
雪に強い青森作り
景気・雇用対策
農林・水産業の推進
教育・福祉の充実
災害対策の促進
新幹線開業効果の拡充

青森県議会議員一般選挙

投票日 4月10日(日)



投票時間 午前7時～午後8時

ただし、一部の投票所については、投票時間を変更していますのでご注意ください。

投票の方法

投票用紙(白色)には、「候補者の氏名」を記載してください。

※ 候補者の氏名以外の他事を記載した場合、その投票が無効となる場合がありますのでご注意ください。

期日前投票 4月2日(土)～4月9日(土)、午前8時30分～午後8時

投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由がある方は、あらかじめ、各市町村の選挙管理委員会で期日前投票をすることができます。

詳しい手続きについては、市町村または県の選挙管理委員会にお尋ねください。

(1) ※弘前市選挙区の区域は、弘前市、西目屋村です。

「福祉の心」をもち防災に強い県政へ

大震災の救済と復興に全力
「市民の要望にはすぐに駆けつけ、地域のみならずと力を合わせて解決」を信条に頑張ってきました。地震・津波、原発事故という大惨事に心を痛め、地域を訪問して不安や要望を聞き、一つひとつ行政に届けて対応を求めてきました。戦後未曾有の災害から地域を復興する国あげた対策、安全を無視した原子力行政の抜本的な見直しが必要で、県議会に出て4年、医療・介護や子育ての負担、農業や商売の苦勞、多くの方から悲鳴に近い声がたくさく寄せられています。
日本共産党は、「国民の苦難の解決に身を投ずる」とを立憲の精神にしてきた党、また、原発・核燃の危険性を一貫して明らかにしてきた政党です。
私は、住民の命と暮らしを守る「福祉・防災の街づくり」に全力で取り組めます。

燃核 原子力行政を見直し、エネルギー政策の転換を
核燃 エネルギー政策の転換を
被災地 被災地の救済・復興に力を尽くします。住宅や小中学校の耐震化、消防力を強めるなど防災対策を強めます。

◇再処理工場は中止し、安全優先の原子力行政に転換します。自然エネルギー・再生可能エネルギーの開発を求めます。

◇医療・介護の負担を軽減
☆国保料、県が一世代1万円の軽減で支拂し、弘前の保険料の引下げの為に、
☆特養ホーム、新設・増設して待機者を減らします。県独自の介護サービスの制度を作り直します。
☆子どもの医療、4歳から6歳の自己負担なくし、小卒まで医療費無料に。
◇地域経済を元気に
☆住宅リフォーム助成の充実、生活密着型の公共事業、防災の街づくりで仕事おこしを促します。
☆農家を応援、地産地消の促進と新規就農者への支援制度を創設します。

○1952年生まれ 保育士10年勤める。○弘前市議3期12年 県議会議員1期。○日本共産党中央委員、憲法9条つがる女性の会代表、核燃だまっちゃおれん津軽の会代表。



あんどう
安藤
はるみ
日本共産党

略歴

「意志」ある所に「道」あり!! 私はやり遂げます!!

ちかしのちかい



次世代を担う子供たちが、故郷に誇りと愛情を持って暮らせる街にしたい。



無所属
齊藤
ちかし
40才

プロフィール
昭和45(一九七〇)年に生まれる
若木小学校、津軽中学校卒業
平成15(二〇〇三)年 弘前私立高等学校卒業
平成19(二〇〇七)年 田舎町町議会議員
平成19(二〇〇七)年 弘前市議会議員

現在
若木小学校PTA会長
若木町町議会議員
二〇(二〇〇八)年度
弘前市議会議員
若木ソフトボール協会会長

【プロフィール】
・1971年6月17日生 39才 O型
・弘前市立第一中学校
・東奥義塾高等学校
・青森大学経営学部経営学科
・衆議院議員公設第二秘書
・青森県知事私設秘書
・参議院議員私設秘書
・弘前市議会議員(2期)
・弘前市農業委員会 委員
・青森県エレクトロニック連盟 顧問
・青森白ゆり幼稚園 理事

みんなが安心して暮らす青森県へ
○医師や看護師が働き続ける医療現場をつくり、医療材料の確保を促す。
○就労支援、作業所支援を充実し、障害者の自立を支えます。
○県病のがんセンター、機能、地域のがん診療機能を高め、
○「重粒子線治療」など、最先端の医療に道を開きます。
○地域介護を支えるいきいき生活応援条例を定めます。

みんなが元気に働く青森県へ
○農家と消費者を結ぶ産直の場を大きくひろげます。
○地元企業に無担保・無保証融資のしくみをつくり、
○県産農林水産物の県外・アジアへの売り込みを強化します。
○農林水産業の六次産業化をすすめます。

みんな子どもを育てる青森県へ
○保育士待遇向上(実給)・職歴・経験・資格(二つ)を認め、給与を上げます。
○子育て環境を整え、奨励金、奨励金を支給する子育て支援策を充実させます。
○児童相談所の働きを強め、子どもを命を守ります。
○教育ローンを借りやすくし、給付型奨学金を充実させます。
○保育所・幼稚園の無償化をすすめます。

まず、議会が変わります。
**議員定数削減
議員報酬削減**
現在、青森県議会議員は月額報酬約75万円、政務調査費月額31万円その他交通費や宿泊費等、また、委員会の研修旅費、海外視察費等の予算も計上されており、
月額報酬約900万円・政務調査費年額372万円合わせると年額約1272万円です。
私は、県民皆様のご意見やご要望を聞き、議員定数や議員報酬の議論をすべきと考え、これからは「みんなの声をかたちに」することを約束いたします。



まつはしたけし
松橋
武史
39歳
民主党公認

頑張るぞ!!
立ち上げられ東北ガンバ関東

大好きな弘前そして津軽のために働きたい!!

- 1 子育て支援事業の 一層の強化
- 2 就業機会の拡大
- 3 青森II弘前II秋田の 高速交通体系の整備
- 4 ねがた・笛・太鼓・ 三味線の伝統文化の継承
- 5 命を守る医療と 福祉の更なる充実
- 6 農業後継者の育成
- 7 りんご流通販路拡大
- 8 NHK大河ドラマの誘致
- 9 公式競技50mプールの 建設推進



なりた
善一
57歳

プロフィール
昭和28年6月11日生まれ
弘前市出身 弘前駅前育ち
第一大成小学校・第三中学校
弘前高等学校・東洋大学卒業
モットー 有言実行

この選挙公報は、くじを引いて掲載順を決定し、候補者から提出された原稿をそのまま写真複製して印刷したものです。

※弘前市選挙区の区域は、弘前市、西目屋村です。

均衡ある発展

厳しく監視
中央と地方の格差は正
農業再生・TPP反対
「幸福度」重視の実現

地域県民の声
県政を厳しく監視
県民の声を届ける
提案・提言の実行

地域と県政のかけ橋
地元職力
●経歴 弘前市議会議員(3期) 副議長
社会福祉法人東郷福祉会 理事(理事長代行・分課長)
新屋敷学園 弘前駅前分館・いずみ(食育館)
株式会社長己設計 会長・津軽長寿温泉株式会社 会長
青森県水泳連盟副会長(弘前水泳協会 会長)

地元職力
●経歴 青森大学後援会副会長(中弘前県支部支部長)
弘前商業専門学校 理事・幹事 弘前県立高等学校 理事
日本建築協会 青森建築士会 弘前ライオンスクラブ 会長
弘前パハアンサンブル後援会

一括交付金＝格差止断
内閣擴大で雇用確保
雇用の確保は格差止断に不可欠
女性就労者支援充実
女性活躍推進法のさらさら
環境28年10月9日、弘前市新里に生まれる
福村小学校、第五中学校、弘前実業高等学校
名城大学 理工学部 建築学 卒業
●モットー 「初志貫徹、有言実行」
●座右の銘 「運 徳 純」

(E-mail:tatum1@jomon.ne.jp) 政治理念「政治は万人の幸せのために」 (E-mail:tatum1@jomon.ne.jp)



自由民主党推薦
一戸かねいち
57才

経歴

- 1963年 青森県立弘前高等学校 卒業
- 1967年 東京薬科大学薬学部 卒業(薬剤師)
- 1980年 社団法人弘前青年会議所 理事長
- 1984年 社団法人弘前観光協会 副会長
- 1989年 弘前商工会議所青年部 会長
- 1997年 自民党青森県連 政調委員会 会長
- 2004年 第70代青森県議会 副議長

現在

- 青森県議会 議員 会長
- 青森県 農林水産部 委員 会長
- 防衛庁 防衛省 議員 副議長
- 農林水産部 農林水産部 委員 会長
- 弘前市 弘前市 議員 副議長
- 弘前市 弘前市 議員 副議長
- 弘前市 弘前市 議員 副議長
- 弘前市 弘前市 議員 副議長
- 弘前市 弘前市 議員 副議長
- 弘前市 弘前市 議員 副議長
- 弘前市 弘前市 議員 副議長

未来のために一生懸命!!

●青森県はさまざまな可能性を秘めた未来です。三方を海に囲まれ自然豊かな地域です。海と山、空と水、食料が豊富です。新しい再生エネルギーが生まれています。新しいまちづくり、新しい暮らし、新しい文化を大切に思っている人たちがたくさん住んでいます。私たちの青森、そして弘前をもっといい地域にして次の世代に残したい。そのために良い政策を行いたい。未来のために。

- **地域のために人づくり**
● 郷土をよく知り愛着と誇りを持つ子供を育てる
● 郷土の人材育成と個性を伸ばす教育をすすめる
● 少人数学級編成の拡大を図る
● 芸術文化、生活文化など新たな文化の育成に努める
● そのために弘前に教員1000名(美術部・音楽部)文化コンベンションホール
- **地域経済の活性化**
● 青森県の地域特性を活かした産業の創出
● 雇用に對する再就職支援・生活支援を充実させる
● 地域医療システム・サレシスの高度化
● 弘前を国際観光都市にする施策への取組み
● 農業農村整備と若者の就業を促進する
● 豊富な地域資源(自然・歴史・文化・農林水産物など)の実効的な活用
● 生活環境の整備(ゴミの持ちこたない街にする、若木川の水をもうとぎれにするなど)
● 地産地消・資源循環の経済をすすめる
- **市民参加の町づくり**
● 豊かな地域資源(自然・歴史・文化・農林水産物など)の実効的な活用
● 生活環境の整備(ゴミの持ちこたない街にする、若木川の水をもうとぎれにするなど)
● 地産地消・資源循環の経済をすすめる



自由民主党公認
西谷きよし
57才

川村悟のプロフィール

- 昭和22年：弘前市高杉に生まれる
- 昭和35年：弘前市立高杉中学校卒業
- 昭和41年：東北電力学芸高等学校卒業
- 昭和41年～平成14年：東北電力(株)勤務
- 昭和51年～58年：青森地方同業協会の会長
- 平成元年～3年：弘前一中PTA会長
- 平成3年～15年：弘前市議会議員(三期12年)
- 平成19年～：青森県議会議員

県政再生!

《現職》弘前市野球協会副会長、北学区体育協会会長、津軽地区50歳・歳層野球連盟会長、弘前パハアンサンブル 理事
《趣味》野球、スキー、ジョギング、かくし芸?
《家族》妻(桂子)と二人、熱帯魚11匹

5つの課題に挑戦し、元気な青森県をつくりまします。

- 1 産業をおこし、雇用をつくりまします**
● 地場産業、ものづくり産業振興
● 農林水産、食産業振興
● 新幹線効果・観光産業振興
● 雇用のセーフティネット構築
- 2 安心・安全社会をつくりまします**
● 地域医療サービスの充実
● 子どもを安全育てやすい環境づくり
● 高齢者、障がい者に優しい街づくり
● 災害・危機に強い街づくり
- 3 循環型社会をつくりまします**
● 低炭素社会づくり
● 自然環境保全(魚釣り)づくり
● 持続可能な循環型社会づくり
- 4 教育・人財をつくりまします**
● 少人数学級を育てる学校教育
● 県民協働の人財づくり
● 文化とスポーツ振興
- 5 議会改革を進めます**
● 議員の透明性を高めます
● 議会の透明性を高めます
● 議会基本条例を制定します
● 一般質問に一回一答の導入を目指します



政党・無所属
川村さとし
63歳

プロフィール

- 昭和11年、千代田県弘前市大和町の農家に生まれる
- 昭和41年、市役所勤務(市議会議員選挙)
- 昭和54年、弘前市議会議員(選挙区)
- 昭和61年、青森県議会議員(選挙区)
- 平成18年、弘前市議会議員(選挙区)
- 弘前中央高校(定時制)卒業、東北大学(定時制)卒業
- 農林水産省(一宮)小川農事と土壌研究所、55回卒業
- 弘前・白神アプルマウンテン28回(出版)5キロ(50回)

県政改革!! 弘前、津軽のために...

- **産業の振興**
○ 農産物の振興(自給率向上と農産物の同一対策・TPP反対)
○ 中小企業の振興(職員削減による充実・伝統工芸の支援)
- **雇用の確保**
○ 新規卒業者の就職の確保
○ 雇用環境の整備充実
- **福祉の充実**
○ 障害者対策(障害者に対するやさしい環境の整備)
○ 高齢者対策(生きがいの実感を味わえる環境整備)
○ 少子化対策(安心して子育てできる環境の整備)
- **教育の充実**
○ 個性を伸ばす教育
○ 国公立定時制三学期(午前・午後・夜間の部)の設置
○ 弘前中央高校定時制の廃止は絶対反対
- **文化・芸術の振興**
○ 芸術者らしい文化・芸術に触れる機会を増やす
○ 心に響かせる文化・芸術に触れる機会を増やす
- **生涯スポーツの振興**
○ 高齢者が健康長生きするための社会の実現
○ ひとりひとりの個性の発揮
- **財政の健全化**
○ 機構改革による省力化の推進
○ 事務事業の見直しによる無駄の排除
- **消費税増税反対**
○ 景気悪化を招く消費税増税反対



税理士
どうま 鋳一
(無所属)

(3) ※弘前市選挙区の区域は、弘前市、西目屋村です。

つくる人、働く人、暮らす人に政治の光を!

私のプロフィール

- 昭和8年(1933)中郡相馬村に生まれる
- 昭和24年 県立弘高併設中学校卒業
- 昭和26年 家庭の事情により弘高中退
- 相馬村議会議員5期、議長1期
- 参議院議員1期
- 県議会議員3期
- 県農政政治連盟幹事長
- 県りんご協会企画理事
- 家族 妻、長男夫婦、孫3人
- 趣味 スポーツ観戦
- 好きなことば

誠心誠意

三上 隆雄 事務所
〒036-8012 弘前市北五ヶ町23
西村オフィスビル1階
TEL. 0172-31-3138 FAX 0172-31-3139

緊急災害対策

- 被災者への生活支援と被災事業者への再建支援の迅速な実施
- 港湾・道路等物流機能の早期回復
- 家庭用・事業用自家発電の普及を提言

雇用拡大四政策

- ①地域産業育成と活性化による雇用の拡大
- ②産学官の連携、ベンチャー企業育成による雇用の拡大
- ③農林水産業の振興と六次産業化による雇用の拡大
- ④福祉や教育に関する産業の育成と雇用の拡大

命を守る。
医療と福祉、子育て環境の充実で、子を守る安心、育てる安心、老いる安心の3つを安心を実現する。

緑を守る。
青森の緑あふれる環境が、新たなビジネスチャンスを生む時代。環境産業を創出し雇用を創る。

食を守る。
TPP参加反対の議論を党内から起こす。青森県の農業を安心・安全で付加価値の高い「食づくり産業」へと発展させ、農業経営の多角化・安定化を通じて所得を増やす。

行き過ぎた競争と、地域間格差の解消へ。ふれあい支えあう、協調・共生型社会へ。



民主党公認
三上たかお
食と緑と命を守る

がんばろう日本! まずは津軽から! 震災対策緊急行動!



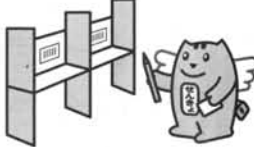
自由民主党公認
おかもと行人
46歳

おかもと行人プロフィール
おかもと行人は、震災被災者への支援、被災地支援の拠点から選挙カーによる活動を行っております。選挙活動は、被災地支援の活動と密に連携し、被災者への支援に努めます。

- 被災者の移住を視野に入れた総合的支援の確立**
- (1) 津軽地域にある公的住宅ストックの全面開放(空き部屋を被災者へ)
 - (2) 移住希望者への総合生活支援(住宅情報や生活情報の提供、各種相談窓口の設置など)
- 安全・安心な農産物の供給体制の確立**
- (1) 遊休農地の最大活用(空き農地を使った、野菜などの生産)
 - (2) 新規作物の導入で、新たな農業従事者の創出(被災移住者含む)
- 震災支援を兼ねた、地域経済活性化への取り組み**
- (1) 被災移住者に限定した、固定資産税を始めとする、公的負担の減免措置案を提案(移住者の経済的負担を少なく)
 - (2) 震災による地域経済へのダメージを最小とするため、地元企業に対しての特例的金融支援政策の確立(復興のためには、地域が元気づけること)

青森県議会議員一般選挙

投票日 4月10日(日)



投票時間 午前7時～午後8時

ただし、一部の投票所については、投票時間を変更していますのでご注意ください。

投票の方法

投票用紙(白色)には、「候補者の氏名」を記載してください。

※ 候補者の氏名以外の他事を記載した場合、その投票が無効となることがありますのでご注意ください。

期日前投票

4月2日(土)～4月9日(土)

午前8時30分～午後8時

投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由がある方は、あらかじめ、各市町村の選挙管理委員会で期日前投票をすることができます。

詳しい手続きについては、市町村または県の選挙管理委員会にお尋ねください。

この選挙公報は、くじを引いて掲載順序を決定し、候補者から提出された原稿をそのまま写真複製して印刷したものです。

青森県議会議員一般選挙



投票日 4月10日(日)



投票時間 午前7時～午後8時

ただし、一部の投票所については、投票時間を変更していますのでご注意ください。

投票の方法

投票用紙(白色)には、「候補者の氏名」を記載してください。

※ 候補者の氏名以外の他事を記載した場合、その投票が無効となる場合がありますのでご注意ください。

期日前投票 4月2日(土)～4月9日(土)、午前8時30分～午後8時

投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由がある方は、あらかじめ、各市町村の選挙管理委員会で期日前投票をすることができます。

詳しい手続きについては、市町村または県の選挙管理委員会にお尋ねください。



(1) ※八戸市選挙区の区域は、八戸市です。

すべては「私たちの八戸」のために

県議定数・報酬の削減
県庁業務・職員の削減
削減改革を進めます！



山田さとのプロフィール

生年月日/昭和45年2月20日
八戸南高、日本大学農獣医学部卒。
平成7年八戸市議初当選。平成15年青森県議初当選。
PTA活動を通じ子育て、教育に取り組み、ウェイトリフティング・チームレスリング・空手道場などを通じスポーツ振興に取り組み。40代、羅漢世代として子どもたちの未来のために県政改革に取り組む。

一日も早い八戸の復興に向けて

被災者への生活支援
・被災者が被災に遭い、避難生活を余儀なくされている被災者への生活支援を強く求めています。

農・畜・漁業など生産者への再生支援
・被災農業者の漁船運送等への金銭支援
・被災農業者の再生への金銭支援
・被災農業者の再生への金銭支援

工業地帯、水産基地としての再生支援
・被災中小企業への復旧のための金銭支援
・被災中小企業への経営安定のための金銭支援
・石油燃料の安定供給と情報開示



山田さとる
民主党公認

「お願いの政治」から、「約束の政治」へ。

山内正孝
プロフィール
昭和二十六年一月一日生
八戸南高卒業(二十一年制)
日本大学農獣医学部卒業
八戸市議会議員 四期
青森県議会議員 四期
青森県産業振興協会 会長
民社党青森県支部 会長
八戸市市民会 会長
八戸市市民会 副会長
八戸市サッカー協会顧問

約束の政治
①いのちを守る
②暮らしを守る
③子どもを守る

東日本大震災被害の早期復興
東日本大震災被害の早期復興を促すため、東日本大震災被災地復興支援本部を設立し、被災地の復興を支援しています。

農林水産業の再生支援
被災農業者の再生支援を強く求めています。

被災者への生活支援
被災者が被災に遭い、避難生活を余儀なくされている被災者への生活支援を強く求めています。



やまのうち正孝
民主党

被災者支援と復興に全力投球!
防災と福祉のまちづくりへ

いのちとくらしが一番
●国保税1万円引き下げに県独自の支援を ●ドクターヘリ2機配備し、1機は八戸に常駐 ●介護施設を増設し、待機者をなくす
仕事と雇用をふやぐ
●地元業者の仕事と雇用を広げる災害復興事業実施 ●住宅リフォーム助成制度の拡充 ●農漁業を破壊する「TPP」反対の共同

原発見直し、安全な青森県を
●原発建設、核燃料サイクルの中止 ●再生可能な自然エネルギー利用発電への転換

議員報酬の2割カットなどの県議会改革
●1943年新郷村に生まれる・五戸高校卒業・八戸館農協に勤務
●共産党三八地区委員会勤務、市議三期連続当選、八戸市八幡に在住/趣味は読書(NHKのご自慢八戸大会で合格の鐘)

被災者のみなさん
心からお見舞い申し上げます
申しあげます

地震、津波、原発の恐ろしさを見せつけた東日本大震災。救援と復興には国をあげた取組みが必要。私は全市民が心一つに取組めば必ず、活力ある元気な八戸を復活できると信じています。

住宅の手当てや港漁協の整備・復興などのハード面での取組みと、漁船対策や水産業全体の緊急融資、短期も含めた失業者への支援対策などが急がれます。こうした諸問題に全力でがんばります。



畑中てつお
日本共産党

「滝沢もとめ」は最優先で震災復興を図り「暮らし」と企業を全力で守ります。

1 震災復興
最優先で八戸復興を図る
●被災を受けた市民の方々と企業への支援を最優先に図る。
●被災を受けた市民の方々と企業への支援を最優先に図る。
●被災を受けた市民の方々と企業への支援を最優先に図る。

2 地域再生
企業経営対策と新産業創出で安定雇用
●成長分野と期待される環境、エネルギーなどグリーン産業の育成と雇用創出。
●八戸港の大規模エネルギー基地化と競争力のある国際物流の形成。
●新卒者の就職支援の強化。
●「はつち」を契機に市民活動の活性化を図る。

3 教育文化
地域教育文化力の向上
●若者の県立屋内スケート場の早期建設を実現。
●子どもが自由に学べる生涯学習の充実。
●子どもたちが伝統文化を継承し郷土愛を育む教育推進。

4 福祉
安心安全な地域づくり
●八戸市民会館へのドクターヘリ2機目入会
●命を守る地域救急医療体制の確立。
●災害に強い安全な暮らしのための施設整備。
●安心して子育てや介護ができる支援体制強化。

「滝沢もとめ」
一人ひとりの思いを一つひとつつなぐ議会へ。県へ。

●昭和33年八戸市に生まれる。
●八戸南高卒業。
●アスリートとしてインターハイ3年連続出場。あすなろ国体に青森県代表として出場し準優勝。
●中央大学法学部卒業。
●元内閣府大臣公使館長を務める。
●元青森県議会議員
●県議として議員連帯委員長
●八戸山内農協 会長



滝沢もとめ
自民党公認

この選挙公報は、くじを引いて掲載順を決定し、候補者から提出された原稿をそのまま複製して印刷したものです。

このたびの東北地方太平洋沖地震により被害に遭われた皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

八戸復興 やります！

希望を捨てずに 今こそ支えあって がんばろう！

プロフィール
昭和21年 八戸市石堂生まれ
昭和37年 八戸市立下長中学校卒業
昭和41年 八戸市立第一高等学校卒業
(現在の中央高校)
昭和58年 八戸市議会議員初当選
平成10年 青森県議会議員初当選
現在4期目

- 1 八戸の再生を最優先に。
港湾復興、安心な暮らしを必ず取り戻します。
- 2 雇用確保・地域経済の振興を。
働く人が報われる社会づくりをします。
- 3 経営の成り立つ農林漁業に。
自給率の向上。安全な食べ物を食卓に。



民主党公認
たなぶ
さだお

プロフィール

- 昭和37年9月7日生まれ(48歳)
根城小・根城中・八戸工大二高卒業
- 昭和60年
日本大学法学部政治経済学科卒業
- 平成13年
八戸市議会議員初当選(39歳)
- 平成15年
青森県議会議員初当選(40歳) 現在2期目

青森県議会議員
青森県議会エネルギー政策研究会事務局長
国民民主党青森県連私学議員連盟事務局長
青森県自転車競技連盟会長
八戸みなと漁業協同組合理事
学校法人八戸工業大学評議員
八戸工業大学第二高等学校後援会 及び 同感会会長
八戸海洋少年団団長
八戸花火大会運営委員会会長

くまがい 選挙事務所
〒031-0801 八戸市江崎3-1-61
TEL.0178-73-2575 FAX.0178-47-0707
ホームページ http://www.kumagai21.com/
E-mail kumagai@hi-net.ne.jp

震災、甚大な津波被害の復興に向け皆様と共に頑張ります。

この度の東日本大震災にて犠牲となつた方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。
また、被災されました皆様方にお見舞いを申し上げます。
東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会委員長を拝命し、皆様と共に復興に向け、全力で取り組んで参ります。

創ろう！次代の絆!!
地場産業の振興で、地域経済の活性化と雇用拡大を推進させます。
誰もが愛着と誇りを持てる魅力ある地域づくりに努めます。
安全・安心な青森ブランドで「攻めの農林水産業」を推進します。
助け合い支え合い、安心できる社会の実現と教育の充実を図ります。



自由民主党公認
くまがい雄一
ゆういち

プロフィール

- 出生
昭和24年5月30日生まれ
八戸市立小中野小中学校卒業
青森県立八戸高校卒業
国学院大学法学部卒業
八戸市議会議員 3期
青森県議会議員 3期(平成11年初当選)
元教相 小泉純一郎氏 秘書
前 青森県議会議員
自由民主党青森県連副委員長
- 趣味 / 読書、スポーツ
- 特技 / テニス、ソフトボール

しみず えつろう 選挙事務所
〒031-0802 八戸市小中野5-13-3
TEL/FAX.0178-22-2818

元氣な青森 創ります！
震災・津波復興に向け全力で取り組みます。

生活・安心・安全な暮らしの構築
高齢化社会が加速してきている現状において、安心して生活できる環境が急務となっています。そのため福祉の充実を図り、地域住民の互助精神で支え合う地域福祉の実現を目指します。また、全体的な医師不足の解消に全力で取り組み、安心できる医療・福祉を目指します。

産業・地場産業の強化と中小企業の安定化
地域間競争に立ち向かえる定数の強い産業の再構築とそのための基幹整備づくり、そして八戸ブランドへの取り組みを推進し、雇用拡大に向けて地場産業の元気づくりと企業誘致に努力いたします。

教育・教育再生とスポーツ振興
教育の質的向上を図るため教員には「教育実践功労表彰」を実施させます。さらに、若年層の凶悪犯罪が多発している昨今、道徳心の希薄化が要因とも言われます。情操教育の一環として、また体力増進のためスポーツ振興に取り組みます。



自由民主党公認
しみず悦郎
えつろう

すぐやる、まずやる、あおもりの未来にまっすぐ！
＝ドクターヘリのはたけやま
B級グルメのはたけやま＝

元氣な青森 創ります！
ひたむきに、まっすぐに

- 1 東日本大震災からの復興を全力で推進します。
県民の生命・財産を守るために、そして生活を支える経済・産業を守るために災害に強いまちづくりに取り組みます。
- 2 ドクターヘリの県内2機体制構築を推進します。
住み慣れた地域で健やかに暮らすために、福祉・保険・介護の充実に取り組みます。
- 3 学校施設の耐震化100%を推進します。
地域における子育て支援の充実と、教育にかかる費用負担の軽減を目指します。
- 4 町工場による改造電気自動車生産の産業化を推進します。
新産業・地場産業の活性化を図り、雇用を創出・拡大し、若者が定着できる青森を築きます。
- 5 県立屋内スケート場の早期建設を推進します。
スポーツ振興とともに、南部八戸の自然・歴史・産業・食などの文化発信の拠点として活用し、県外からの交流人口の拡大を目指します。

主な実績
☆県民の命を守る「ドクターヘリ」の配備を新元、県議会等での賛同は10数回。平成21年3月に八戸市民病院に導入を実現。
☆「八戸せんべい汁」をはじめとした県内伝統グルメを活用した観光振興を推進。



公明党公認
はたけやま
けいいち
(55歳)

この選挙公報は、くじを引いて掲載順序を決定し、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版して印刷したものです。

(3) ※八戸市選挙区の区域は、八戸市です。

たゆまざる改革・責任ある政治

中村寿文 プロフィール

昭和14年8月4日生
長春小・一中・
八戸・慶大法卒
職歴/東北電力(株)
衆議院議員秘書
県議員(6期)
県議会副議長
県監査委員
八戸市長
所属/東スケート連盟顧問
八戸市文化協会名誉顧問
八戸商工会議所顧問
日本山岳会会員

- ① 経済・産業基盤強化による有効求人倍率の上昇
- ② 地場産業・地場企業の育成、振興
- ③ 農林水産業の発展による経済基盤強化
- ④ 地域間医療格差の緊急是正
- ⑤ 短命県からの脱却と少子高齢化改善のための条件整備
- ⑥ 環境・エネルギー政策の早期実施の地元還元
- ⑦ 自然エネルギーによる経済効果
- ⑧ ごみの発生抑制・再利用・再生利用の促進強化
- ⑨ スポーツの振興
- ⑩ 自然・産業・文化の恵みを最大限に活かした魅力ある青森県づくり

中村寿文は経験を活かし、必ずや取り組み実行いたします。



民主党公認
なかむら としふみ 71歳
中村寿文

現状打破 青森県政に 喝 浜通りの震災の復興に 全力で取り組みます!

減税日本推薦・民主党推薦

あなたの一票が県政を変える。寺地は挑戦します。

■プロフィール(略歴)■

●昭和28年1月23日八戸市七つ瀬駅前生まれ
父弘一郎 母モミ 養小學校・漢中学校
八戸水産高校漁業科卒業 国士館大学
体育学部入学・政経学部中退

●昭和62年 八戸市議会議員初当選
●平成19年 八戸市議会議員四期目当選
●現在 八戸地域水道企業団議会議長
八戸消防団本団分団長
民主党八戸市支部幹事長

八戸市議4期の実績を生かします

八戸の持つ可能性は無限であります。しかし、これまで県政は八戸を生かしていません。県政を変えたい一心で、将来の八戸の為に立候補を決意しました。

- 情熱と実行力
1. 青森県議会議員の定数削減をします。
 2. 県政の刷新と経費の削減をはかります。
 3. 県税の10%削減に取り組みます。

謹んで震災の
お見舞いを申し上げます

この度の地震・津波による被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の健康と一刻も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

寺地則行事務所



寺地 のりゆき

復興、再建のために!

藤川友信の信念「地方と家族こそ政治の原点」
がんばろう八戸! がんばろう東日本!

この度の東北地方太平洋沖地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と、皆様の健康を心からお祈り申し上げます。

藤川友信は「八戸市民の「思いや願い、希望と夢」を県政に届けると共に、八戸地域の災害復興のために懸命に努力し、働きます。速やかな被災者の救済と被害が大きかった港湾関係施設、工業施設の再建を第一の政策に掲げ、八戸の地域経済を震災前以上に活性化させなければならぬ」と考えています。

八戸地域の将来が明るく元気になる政策を実現していくことをお約束します。

未来のある子供たちに、「家族の絆」や「地域社会大事」の教育推進に努め、市民と障がい者、高齢者が共存できる社会を目指し、農林水産業、商工業のバランスの取れた政策を実現します。

謹んで地震災害の
お見舞いを申し上げます。

信念の政治、不屈の闘志!
藤川友信
プロフィール

- 専修大学商学部卒業
- 衆議院議員秘書
- 八戸市市議会議員連任四期当選
- 八戸地域広域市町村圏事務組合議長
- 八戸市議会副議長
- 八戸賢友会顧問
- 少林寺拳法八戸中部支部顧問
- 八戸アマチュアボクシング協会常任理事
- 県南県と踊りの会顧問相談役

■藤川友信選挙事務所
八戸市根城2丁目30の30
電話・FAX 0178-45-1000

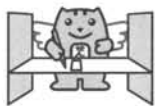
■後援会事務所(自宅)
八戸市石手洗字上石手洗33-1
電話・FAX 0178-96-6666



自由民主党公認
ふじかわ ともふぶ
藤川友信

青森県議会議員一般選挙

投票日 4月10日(日)



投票時間 午前7時～午後8時
ただし、一部の投票所については、投票時間を変更いたしますのでご注意ください。

投票の方法
投票用紙(白色)には、「候補者の氏名」を記載してください。
※ 候補者の氏名以外の他事を記載した場合、その投票が無効となることがありますのでご注意ください。

期日前投票
4月2日(土)～4月9日(土)、午前8時30分～午後8時
投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由がある方は、あらかじめ、各市町村の選挙管理委員会でも期日前投票をすることができます。
詳しい手続きについては、市町村または県の選挙管理委員会にお尋ねください。

この選挙公報は、くじを引いて掲載順字を決定し、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版して印刷したものです。

青森県議会議員一般選挙



投票日 4月10日(日)



投票時間 午前7時～午後8時

ただし、一部の投票所については、投票時間を変更していますのでご注意ください。

投票の方法

投票用紙(白色)には、「候補者の氏名」を記載してください。

※ 候補者の氏名以外の他事を記載した場合、その投票が無効となることがありますのでご注意ください。

期日前投票 4月2日(土)～4月9日(土)、午前8時30分～午後8時

投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由がある方は、あらかじめ、各市町村の選挙管理委員会で期日前投票をすることができます。

詳しい手続きについては、市町村または県の選挙管理委員会にお尋ねください。



青森県議会議員一般選挙



投票日 4月10日(日)



投票時間 午前7時～午後8時

ただし、一部の投票所については、投票時間を変更していますのでご注意ください。

投票の方法

投票用紙(白色)には、「候補者の氏名」を記載してください。

※ 候補者の氏名以外の他事を記載した場合、その投票が無効となる場合がありますのでご注意ください。

期日前投票 4月2日(土)～4月9日(土)、午前8時30分～午後8時

投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由がある方は、あらかじめ、各市町村の選挙管理委員会で期日前投票をすることができます。

詳しい手続きについては、市町村または県の選挙管理委員会にお尋ねください。



青森県議会議員一般選挙



投票日 4月10日(日)



投票時間 午前7時～午後8時

ただし、一部の投票所については、投票時間を変更していますのでご注意ください。

投票の方法

投票用紙(白色)には、「候補者の氏名」を記載してください。

※ 候補者の氏名以外の他事を記載した場合、その投票が無効となる場合がありますのでご注意ください。

期日前投票 4月2日(土)～4月9日(土)、午前8時30分～午後8時

投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由がある方は、あらかじめ、各市町村の選挙管理委員会で期日前投票をすることができます。

詳しい手続きについては、市町村または県の選挙管理委員会にお尋ねください。



(1) ※平川市選挙区の区域は、平川市、大町町です。

プロフィール

- 【略歴】**
- 生年月日：昭和25年3月9日生(60歳)
 - 父：齊藤(故人) 母：三子
 - 兄：豊一 弟：樹子
 - 養育の農家、工務業の三人兄弟末っ子として生まれる
 - 現在は妻(専業主婦)と養育で二人暮らし
 - 長男 福崎(静岡県在住) 長女 登子(東京在住)
 - 尾上中～弘高～千歳工業大学卒業
 - 青森県議会議員(2期)
 - 尾上町立図書館P.T.A会長
 - 尾上町連合P.T.A会長
 - 祝弘立パレ一部O.M父母会副会長
 - 青森県立尾上総合高校評議員及び就職活動応援推進委員長
 - 尾上町農工会事務局長(94年～1422年3月)
 - 平川市農工会副支所長～評議(92年12月～中絶)
- 【現在】**
- 平川市都市計画審議会委員
 - 尾上町自治体(市町村)の経営安定の確立
 - 独自の軽減を目指し、経済の安定化の推進。
 - 独自の政策を推進させることを目指す。
 - 災害に強い街づくりの推進

地域発展のために全力を注ぎます！

無所属

工藤 義春

61歳



教育・人材育成に全力を注ぐ
いまだに格差が広がる中で、子供達の教育だけは格差があってはならない。また、リーガシップの起る人材を育成して、さらなる地域発展につなげていく。又、スポーツ・文化の事業を通じ、生涯教育を推進していく。

農林漁業の強化と 景気・雇用対策に全力を注ぐ
農産・観光の連携事業を推進していく。地方は農林漁業を守って行かねば経済波及はしない。地産地消、地域産業の振興に努め、ベンチャー企業を支援し、企業経営に全力を注ぐ。

安心・安全な社会保障の為に 全力を注ぐ
年金問題、医療、介護問題、税金問題など生活に不安を抱えているのが山積しております。私は皆さんのご心配に寄り添って行動して参ります。

県議会議員の報酬を20%カット
この不景気で全国的に議員の給与削減が話題となっていますが、皆さんの税金からなる議員の報酬は、この削減を断念しております。削減が大切であるべきです。

自由民主党 公認

中村 ひろし

(57才)



○ **基本的な考え**

地域振興に王道はなく、その地域にある種をしっかりと見極め、市場の必要性にしっかりと照らし合わせて地域産業の振興をはかる。それが地域が活きる、地域を活かすことにつながっていく。

○ **抱負**

地球環境保全の為に、地域にある稲ワラ・間伐材・りんご剪定枝等を利用して、バイオコーク・スパイオエタノール等を製造する工場をつくり、農業者の所得拡大・雇用の拡大につなげる。

○ **中村ひろしの提言**

- 生活できる農業の確立
- 地方の前途を拓く手段としてTPPには反対する。
- 国民の安全安心の為に7月給率の向上を訴える。
- マーケット型農業を確立し、後継者育成。
- 若者が定住できる雇用の場の拡大
- 地域の種を活かした創意工夫の地域産業の育成を目指す。
- 廃校・閉校後の校舎を再利用した研修センター・野営工場設置等を目指す。
- 高齢者が安全で安心して住める街づくり
- 病院を含めたネットワーク作りをすすめ、地域医療の確立を目指す。
- 福祉施設の拡充に努め、介護の軽減を目指す。
- 地方自治体(市町村)の経営安定の確立
- 独自の軽減を目指し、経済の安定化の推進。
- 独自の政策を推進させることを目指す。
- 災害に強い街づくりの推進

- (現在)
- 県議会労働工部会アドバイザー 常任委員会委員長
 - 自由民主党青森県選挙区支部長
 - 県議会バイオエネルギー研究会代表
 - 青森県パターミントン協会会長

こころ豊かなふるさとを創るために 創造・挑戦・行動力で！

自由民主党 公認

ながお 忠行

62歳



■ **地域主権を推進し 議会改革を促進**
住民に身近な開かれた県議会のあり方を模索し、議会基本条例の制定等議会改革を促進します。

■ **TPPに反対し農林水産業及び商工業の振興**
貿易の完全自由化は日本の一次産業を衰退させます。基幹産業である農林水産業はもとより、商工業においても、両代が変わったということを認識し、国際競争・地域間競争に対応できる産業の振興を図ります。

■ **安心して暮らせる 福祉社会の実現**
少子高齢化社会に対応できる環境整備と高齢者・児・障害者福祉の充実のため全力を尽くします。

■ **人を思いやる心を育てる 教育の充実**
「欠点をなくす教育」から「好きを伸ばす教育」への転換を図り、人を思いやる心を育てる教育の充実に努めます。

■ **人と地球にやさしい 環境への積極的な対応**
次の世代に安全・安心な環境を残すためにも、産業廃棄物問題や環境対策に努力し、循環型社会への積極的な対応を図ります。

ながお忠行プロフィール

- 昭和24年3月10日生まれ
- 職業／農業(りんご専業農家)
- 現立柏木農業高校卒
- 東京農業大学農学部卒
- 平賀町連合青年団 団長
- 青森県連合青年団 副団長
- 平賀町連合青年団 団長
- 青森県議会議員(1期)
- 青森県議会議員(短期)
- 文教公安委員長
- 農林水産委員長
- 議会運営委員長
- 議会議員
- 前議長
- 前議連会長
- 広報委員長
- 政務委員会 会長

青森県議会議員一般選挙

投票日 4月10日(日)

投票時間 午前7時～午後8時
ただし、一部の投票所については、投票時間を変更いたしますのでご注意ください。

投票の方法
投票用紙(白色)には、「候補者の氏名」を記載してください。
※ 候補者の氏名以外の他事を記載した場合、その投票が無効となることがありますのでご注意ください。

期日前投票
4月2日(土)～4月9日(土)、午前8時30分～午後8時
投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由がある方は、あらかじめ、各市町村の選挙管理委員会でも期日前投票をすることができます。
詳しい手続きについては、市町村または県の選挙管理委員会にお尋ねください。

青森県議会議員一般選挙



投票日 4月10日(日)



投票時間 午前7時～午後8時

ただし、一部の投票所については、投票時間を変更していますのでご注意ください。

投票の方法

投票用紙(白色)には、「候補者の氏名」を記載してください。

※ 候補者の氏名以外の他事を記載した場合、その投票が無効となる場合がありますのでご注意ください。

期日前投票 4月2日(土)～4月9日(土)、午前8時30分～午後8時

投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由がある方は、あらかじめ、各市町村の選挙管理委員会で期日前投票をすることができます。

詳しい手続きについては、市町村または県の選挙管理委員会にお尋ねください。

